

第2回「ぐんまの建具・木製品展示会」

一般ユーザーに向けた情報発信を強化



展示会場に飾られた看板

群馬県建具組合連合会主催、群馬県、全国建具組合連合会、上毛新聞社の後援による第2回「ぐんまの建具・木製品展示会」が6月13日から15日までの3日間、群馬県前橋市の群馬県庁県民ホールにて開催された。群馬県建具組合連合会は隔年で「群馬県新作建具・木製品展示会」と「ぐんまの建具・木製品展示会」を企画している。前者は本格的な建具及び木製品の展示会であり、建具業界が有する技能の高さを一般ユーザーに向けて情報発信するもの。作品の審

査も行われ、最高位の作品には群馬県知事賞が授与される。後者は現代の一般住宅に納まることを考えた作品展であり、作品の価格帯も比較的に抑えたものを主体とし、普及タイプのフラッシュドア、無地障子、日常の生活で活用できる木製品など、販売を主眼とした産業展としての特色を出している。

今回の「ぐんまの建具・木製品展示会」では、地場産出の木材を活用した作品など、独自の工夫を盛り込んだ。小島建具店製作の群馬県産の

杉間伐材を使った「ログハウス風犬小屋」は注文に応じてサイズを変更でき、個々の家の事情に対しても柔軟に対応できるようになっている。また、間伐材のローテーブルなど、環境に配慮した木製品、ビー玉が自動で流れる子供向けの製品など、建具技能を応用したアイデア製品を数多く展示した。

木製品の日用品も数多く揃い、伊藤産業は木製の祈願ホルダーである「健康・交通安全祈り升」を展示即売。升の中に願い事を彫り込んだホルダーであり、販売価格は500円からの設定。ミニ障子は様々な格子や腰板の種類を用意し、室内の和風インテリアとして彩りを与える。六本木木工は障子紙の機能性を紹介。普通紙、ワロン紙、タフトツブ紙を無地障子に貼り、その違いを来場者が直接触ることで実感できるようにした。木材を使ったユニークな作品も展示され、大澤木工は戦艦シリーズとして戦艦長門、空母赤城、イージス艦こんごうの模型を製作。木材加工の技術を応用して模型などの趣味の作品も可能であることを表現した。

一方、高度な建具技能を駆使した